

わかはく講座

室町・戦国時代の武家拠点

室町時代から戦国時代にかけて若狭国を支配した一色・武田氏は、若狭湾に面した西津や小浜（いずれも小浜市）を拠点に活動しました。一色氏は西津に館を、武田氏は小浜に館と居城を設けたことがよく知られています。

ところで、武家の拠点とは一体何でしょうか。館なのか城なのか、はたまた両方がセットなのか。そして若狭国の拠点のあり方は、当時の他国の状況と比べてどういったものなのか。従来は国内での変遷・展開に重点を置いて語られてきた両氏の「拠点」について、越前や近江など隣国のあり方との比較を試みます。

12月20日（日）

13時30分～15時

講師：徳満 悠（当館職員）

場所：当館講堂

定員：先着30名

要申込

本講座は新型コロナウイルス感染防止のため
事前申込み制となっています。

申込み受付は12月3日（木）からです

申込先 福井県立若狭歴史博物館

☎0770-56-0525 E-mail wakahaku@snow.ocn.ne.jp

申込みに際しては、氏名・住所・連絡先をお伝えください